

# 災害科学国際研究所

## 第7回「災害と健康」学際研究推進セミナー

- 日時 2017年6月28日(水) 18:00～19:30
- 会場 星陵キャンパス 医学部6号館1F カンファレンス1
- 講師 今村 文彦  
東北大学 災害科学国際研究所 所長  
災害リスク研究部門 津波工学研究分野 教授



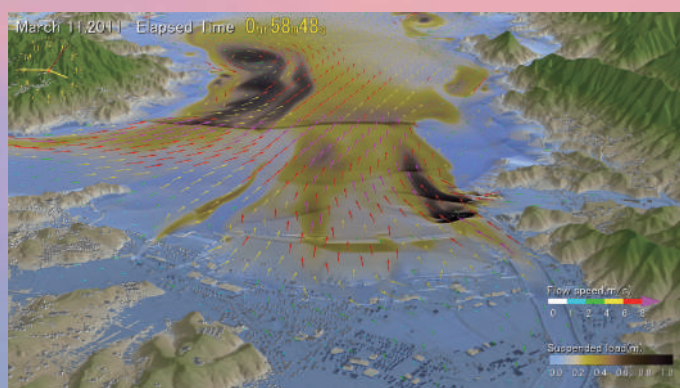
### 演題『東日本大震災から学ぶ生存モデル ～ 津波遺体のメッセージと行方不明の実態 ～』

今村文彦先生の研究室は、工学的な立場から津波を研究する世界で唯一の研究機関である。災害対策・制御の理念を基盤として、国内外の現地調査研究、高精度津波数値予測システムの開発、地域の津波災害対策支援を主とした研究を行っておられる。

東日本大震災での甚大な犠牲者の9割が津波による溺死であった。現在、検死から様々な状況が推定され、津波からの生き残るためのヒントが蓄積されつつある。一方で、未だに2500名以上の方が行方不明である。

本セミナーでは、これからの災害対策は、過去の災害事例に基づいたものだけでなく、社会の発展と変貌する災害過程を予測し、地域の発展と脆弱性に応じたきめ細かなものであるべきという理念のもと、東日本大震災から学ぶ生存モデルを構築するための一歩として、知らざる津波の脅威との関連をご紹介下さる。是非奮ってご参加下さい。

○主催 「災害と健康」プロジェクトユニット ○共催 「被害予測と軽減」プロジェクトユニット



※本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目等指定科目に振り替えることができる特別セミナーを兼ねています

#### 【お問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所  
災害と健康プロジェクトユニット  
TEL: 022-728-2372  
メールアドレス: dhu\_jimu@irides-dpsy.med.tohoku.ac.jp



※一般の方も上記にお申込みの上、ご聴講いただけます(×切6月22日(木), 学内の方は申込不要)